

・毎日が格闘のように感じている目標達成までの道筋で、1月から始まり12月末で終わる1年を区切りとして色を付けてきたように感じていた、ここ数年。

世の中に来年の手帳が出始める時期には翌年の目標設定を考え始めていた。

2023年目標設定グループもチームItoというグループ活動だけが継続している状態で、全体としてどうなるのだろうか？と頭をよぎる時も多々あった。

そんな中で来年の目標設定グループはどうなるのだろうかと気になっていたので、個別フォローの時間を使って陽子さんに質問しました。

頂いた答えは、安心したような、また少し未知へのチャレンジを含む、ほんの少しの恐れと勇気が必要になるものだった。

2024年の目標を描いていくまでにどんな風な力の借り方が出来るだろうと、しっかり考えていきたいと思いました。

**2023年**当初からチームで挑戦してきたのは「踏み込み」。

合宿ではその思いを互いに気持ちよく受け取って来たけれど、現実には、いくら踏み込んでも相手には伝わらず、相手の行動が変わることにつながらないことも多々あると、陽子さんから経験を基に伝えてもらいました。

私は(自分のやりたいことを職場で実現しようとするタイプだったので)長らく社内評価が高い方ではなかった。

一方で、その時代になにくそと思い、あれこれ試行錯誤してきたことが中堅以降、職場で一人で決められるという軸につながってきたような気がしている。

一方で「やりたいことをやる」というのは、その下積み感に堪えられないと厳しいのだということも分かってきた。

また、確信がないと断定的な言い方が出来ないという特性から、10プロの中でまだ私が率直にものを言えていないように感じるとの陽子さんの言葉から「言いづらいんだけど〇〇と思った」というように、素直に思ったことを伝える練習もトレーニングしていきたいと思いました。

(A.S 40代女性 北海道)